

特定非営利活動法人 ブックスタート

2019 年度 事業活動報告

[1] 自治体への情報提供

①市区町村からの問い合わせ・相談対応／資料提供／関係構築

- 電話やメールでの問い合わせ・相談に対応。注文関連の連絡含め、数件～数十件／日。
- 実施自治体には、ニュースレター、ハンドブック、当法人刊行の書籍、特別なニーズ（視覚障がい、外国語を母語）のある対象者向け資料などを無償で提供。
- 未実施や独自実施（NPO ブックスタートを通した非営利の仕組みを利用せずに活動を実施する）自治体に対しても、一部の無料資料を提供。

②ニュースレターの発行

- 年 4 回発行。ウェブサイトにて PDF を公開。
- 実施自治体、都道府県、会員や出版関係者には、印刷物として郵送。



③自治体に関する情報収集／取材・見学

- 実施自治体から、年に一度、実施状況を知らせてもらう。
- 取材見学訪問先（4 件）
神奈川県鎌倉市、山梨県北杜市、兵庫県明石市、香川県宇多津町

④障がいのある対象者への対応

- 実施自治体向けサポートとして、視覚に障がいのある対象者向け資料の提供。
- ブログ連載「障がいのある方への対応を考えるために」
- 読書バリアフリー法制定（2019 年 6 月）に伴い、関係各機関等と情報交換。

⑤外国語を母語とする対象者への対応

- 実施自治体向けサポートとして、対象者向け多言語資料を提供。

⑥都道府県・国への情報提供

- 図書館・教育委員会・子育て支援・母子保健の担当者へニュースレターを送付。

[2] 研修事業

①ブックスタート研修会開催

- ・ 鹿児島県及び広島県にて。
- ・ 対象は、ブックスタートを実施中または実施検討中の自治体職員・ボランティア。
- ・ 参加人数、延べ102名。
- ・ 新たな試みとして、外部から講師を招いた講演をプログラムに追加。

《プログラム》

- ◇ 講演「赤ちゃんに紡ぐ絵本の時間」絵本作家スギヤマカナヨさん
- ◇ 報告「読みきかせの体験と絵本のプレゼントがもたらすもの」NPO ブックスタート
- ◇ 事例紹介「ブックスタートの実施と運営」
鹿児島（霧島市、宮崎県小林市）／広島（尾道市、府中市）
- ◇ ワークショップ「ブックスタートを行う意味を考える」



<上段>左：スギヤマカナヨさん講演、中：自治体の事例紹介、右：ワークショップの様子
<下段>参加された皆さん 左：鹿児島／右：広島

②各地の研修会・講演会への職員派遣

- ・ 自治体からの依頼を受け、職員を派遣。自治体が負担する費用は、通常、東京からの往復交通費(謝礼は不要)。
- ・ 交通費全額の負担が難しい場合も多く、応募制で、無料(初めての試み)または2万円での派遣を実施。
- ・ 無料派遣は5件(応募件数19件)。2万円派遣は4件(応募件数4件)。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2月以降、延期や中止が相次いだ。
- ・ 訪問先 計47件

北海道：室蘭市、登別市／岩手県：北上市／福島県：喜多方市／茨城県：日立市、古河市、龍ヶ崎市、潮来市、
守谷市／栃木県：栃木市、野木町(2回)／群馬県：前橋市、高崎市、桐生市／埼玉県：東松山市、新座市、北本市、
三郷市、白岡市／千葉県：茂原市、鎌ヶ谷市、一宮町／東京都：立川市、武蔵野市、国立市／
神奈川県：相模原市(2回)、大和市／静岡県：静岡市、三島市、御殿場市、函南町／愛知県：一宮市、尾張旭市、田原市、
あま市／大阪府：門真市／福岡県：福岡市、久留米市／鹿児島県：霧島市
岩手県立図書館／京都府教育庁(2回)／公共図書館で働く視覚障害職員の会(なごや会)／千葉県看護協会

[3] パック提供事業

①ブックスタート・パックの流通

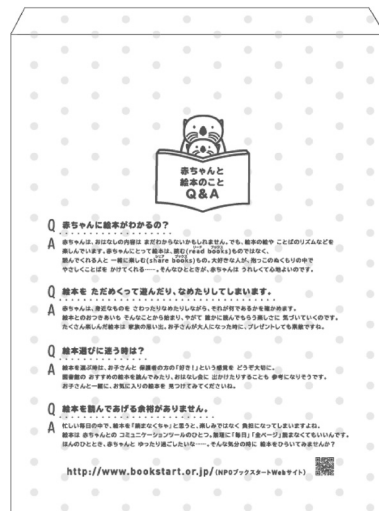
- 自治体からの注文に基づき、絵本、アドバイスブックレット、布製バッグを販売。
- 視覚に障がいのある対象者からの希望に応じて、てんやぐ絵本への交換対応（無料）。

②パック用封筒・ポリ袋を紙袋に変更

- 自治体からの要望に応じて無料提供していた、絵本などを入れる、ロゴマーク入りの封筒・ポリ袋について、経費節減及び自然環境への配慮の観点から、クラフト紙の袋に変更。
- 保護者に直接手渡すものであることから、贈り物をイメージしたデザインにしたほか、絵本と赤ちゃんに関するQ&Aを掲載。ブックスタートでの体験を補うことも意図した。



表面：
贈り物をイメージ
したデザイン



裏面：
絵本と赤ちゃん
に関する Q&A
を掲載

[4] 広報活動

①ウェブサイト、SNS での情報発信／取材・問い合わせ対応

- 取材対応では、FM ラジオ J-WAVE「JK RADIO TOKYO UNITED」への出演や、保護者や保育士向けに赤ちゃん絵本を紹介する書籍のコラムで活動紹介。
- NHK「すくすく子育て」での活動紹介にあたり、取材先自治体を紹介した。放送への反響が大きく、年度内に2回再放送。
- 一般の方や研究者などからの問い合わせに対応。大学での講義用にリーフレットの提供や、ウェブで公開した紹介ビデオの案内も。

②講演会開催 ※新型コロナウイルス感染拡大のため延期

- 2020年3月1日に予定していた中川ひろたか氏（シンガーソングライター）の講演『こども・えほん・うたのこと』は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期。

③刊行物発行

- ・ 「子ども・社会を考える」シリーズ、3タイトルを刊行。
- ・ 本体 600 円+税／A5 サイズ
 - ◇『人類の育児スタイルは共同養育』比較認知発達科学者 明和政子／54 ページ・2020 年 2 月発行
 - ◇『絵本はコミュニケーションツール』絵本作家 スギヤマカナヨ／38 ページ・2020 年 2 月発行
 - ◇『父の話をしましょうか～加古さんと松居さん～』
鈴木万里（加古里子 長女）小風さち（松居直 長女）／54 ページ・2020 年 3 月発行



④海外団体とのネットワークづくり

- ・ イギリスの BookTrust（ブックトラスト）及び 5 か国／地域（ドイツ、オランダ、ベルギー、カナダ、オーストラリア）の推進団体とのオンライン会議及び欧州で開催した会議に参加。
- ・ ボランティアの関わりと地域づくり、多言語対応など、日本の経験を発表。
- ・ 日本の活動で大切にしている share books について共有できるよう、既刊の『「ブックスタートがもたらすもの」に関する研究レポート』の一部英訳に着手。完成は 2020 年度。ウェブサイトにて公開予定。

[5] 調査研究

①保護者向けアンケート調査の実施

- ・ ブックスタートの意義を検証し、自治体での事業立ち上げや継続の後押しとするため、2018 年度に事業開始した自治体で、ブックスタートを受けた／受けていない保護者を対象にアンケート調査を実施。調査票を回収。集計分析は 2020 年度を予定。

[6] 組織運営

①変化に対応可能な組織体制の構築

- ・ グループウェアの導入準備を進めていたところ、新型コロナウイルス感染拡大によりテレワーク体制が必要となり、順次導入。